教科用図書の採択について <平成27(2015)年度~平成30(2018)年度> 奈良教育大学附属小学校			
教科	種目	発行者名	採択理由
国語	国語	教育出版	・入門期の文字指導(ひらがな・かたかな)において、子どものくらしとの結びつきを重視し、語彙を豊かにしながら文字を獲得できるように編集されている。また、字形の簡単のものから学習が始められている。 ・子どもたちの成長・発達にはたらきかける価値がある読みもの教材が多く編集されている。
	書写	教育出版	・字形や筆順がわかりやすく例示してあり、主体的な学習が可能である。
社会	社会	教育出版	・歴史学習領域において、人々のくらしの実相がていねいに記述されており、現在の子どもたちのくらしと結びつけながら学ばせることができる。 ・学習資料(写真・図表)が豊富で内容も適切である。
	地図	帝国書院	・統計資料が豊富で、調べ学習や発展的学習をおこなうときに有用である。 ・鳥瞰図やイラストが適切に用いられており、子どもたちがその土地のようすをイメージしやすいように編集されている。
算数	算数	学校図書	・低学年の「数と計算」領域において、ブロックを使用した学習方法に工夫が見られ、子どもたちに数認識を形成させるうえで優れた編集となっている。 ・「図形」領域では、子どもたちが自らの思考をくぐって図形の概念を獲得できるように工夫されている。
理科	理科	大日本図書	・物理・化学分野において、科学のすじみちを重視した教材配列、また科学的な学習内容となっている。また、学習の重点が 絵・写真などで子どもたちにわかりやすいように工夫されてい
生活	生活	教育出版	・「がっこうたんけん」での保健室のしごとの扱いなど、全体として人の働きについてていねいに学習する編集となっている。活動や体験を通して具体的事実を学習することで、社会とのかかわりに関心をもてるよう工夫されている。 ・自然の基礎的な概念を学習内容に反映させた編集となっており、自然の事実や初歩的な自然のきまりが学習できる。
音楽	音楽	教育芸術社	・共通教材において曲想を豊かにしながら指導するための工夫がなされている。 ・器楽において、いろいろな種類の楽器を使って演奏できるように曲が選定されている。
図画工作	図画工作	日本文教出版	・絵画領域において、生活画の題材が多く、子どもの暮らしと 表現の結びつきに優れている。 ・工作領域で、素材を生かすために見通しをもってつくること が大事にされている。
家庭	家庭	開隆堂	・単に技術の習得を目ざすのではなく、その技術が健康で快適なくらしづくりにどのように役立つのかを科学的にとらえる力を培うことができる。 ・図表資料が豊富で、日常生活に必要な基礎的知識・技能の学習に適している。
体育	保健	光文書院	・健康に関する資質・能力について「喫煙の害」などでの学習内容に優れ、喫煙がどれほど人の健康を害するかなどについて科学的に子どもの理解を深めさせることができる。